摂食嚥下
実践ラボ

介助食器

握力が弱い、指がうまく動かせない、手首が動かせないなど、抱えている状態はさまざまだと思います。
現在、それぞれの状態に応じて工夫された食具や食器がたくさんありますので、状態に合わせて選び活用しましょう。
無理なく口へ運ぶことにより、「食べる」ことがよりよく改善するかもしれません。

スプーン

スプーンのヘッドは小さめかつ浅いヘラ状だと口から引き出しやすい

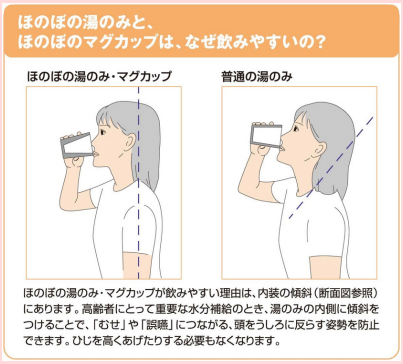
グリップ部分が滑りにくく持ちやすい、
ネックが曲がるようになっている。
様々な持ち方でも対応可能。

はし

はしにクリップやバネが付いているものは食べ物をつかみやすい

コップ

内側に傾斜が付いており、あまり傾けずに最後まで飲める。むせやすい人に。



食器

スプーンですくいやすいふち

握力が低下しても持ちやすい取っ手つき

画像のご提供 Willasisst（ウィルアシスト）様　http://willassist.biz/about-ja/

【監修】　菊谷　武　先生　／日本歯科大学　口腔リハビリテーション　多摩クリニック院長